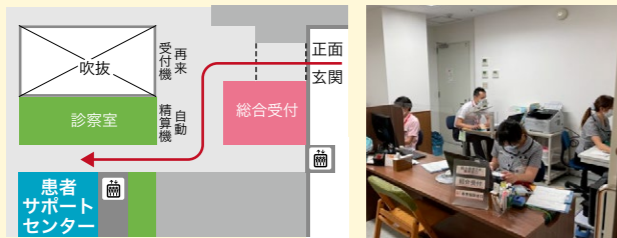


患者サポートセンター

紹介患者さまの窓口となる“地域医療連絡室”と“医療福祉相談室”に設けていた患者相談窓口を合わせ『患者サポートセンター』を開設しました。患者さまの利便性を高め、わかりやすい相談体制を敷くとともに地域の医療機関や施設との連携充実を図るため院内外に対する集約的な窓口として機能することを目的としています。

(患者サポートセンター 室長 鹿島由美子)

- 主な業務
- ・紹介患者さまの受付およびご案内
 - ・他院への診察依頼や検査予約
 - ・かかりつけ医のご紹介
 - ・登録医(共同診療)の窓口
 - ・紹介元への書類の一元管理
 - ・受診(入院)前からの患者サポート
 - ・療養上や経済上の相談
 - ・医療上の様々な問題・不安の相談など



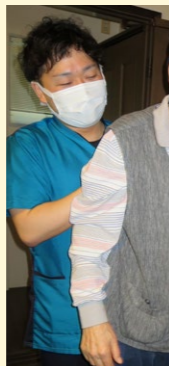
月～金 9時～17時 土 9時～13時
ご来院の際はお気軽にお立ち寄りください。

訪問看護ステーション ～理学療法士によるリハビリ開始～

皆さまのご支援を賜り、訪問看護事業を立ち上げてから3年を迎えようとしています。試行錯誤の連続ですが、ようやく育和会らしい形になってきたような気がしています。

今春からは理学療法士による在宅でのリハビリも開始し、当院入院中の患者様の退院後も継続して在宅リハビリを担当させて頂くケースが出てきました。急性期の様子を知った上で在宅でも関われることは、患者様と理学療法士の双方に利点があると実感しています。コロナ禍、外出機会も人と触れ合う機会も減ったことでADL低下、気力の減退を余儀なくされている利用者様が増えています。在宅でのリハビリがそのQOLを維持し高めることの一助になればと願い、今後とも、スタッフ一同切磋琢磨して参ります。

(育和会 訪問看護ステーション 管理者 櫻本久子)



院内処方箋開始のお知らせ

今年6月より少しずつ外来での処方を院内調剤に切替えてきました。これだけ医薬分業が奨励されているにもかかわらずオカミに盾つくような転換はどうして、と何人にも質問されました。イチにもニにも患者サービスの向上ゆえです。

当院を受診される方の中には普段から何もお薬を飲んでいない方がかなりの数いらっしゃいます。そういった方が慣れない松葉杖を使いながら、また急な身体の不調を我慢しながら薬局を探し薬を入手する、という状態への疑問がずっとありました。

そして入院から在宅に戻られる患者さんの薬物療法を継続して支える、私達が支えられない時には「かかりつけ薬剤師」への橋渡しをきっちり行う等の業務を行っていきます。

(薬剤部 部長 久岡清子)

ホームページリニューアルのお知らせ

2021年4月1日、当院ホームページをリニューアルしました。主たる目的はスマートフォンでも見やすいホームページにする事でした。今後もホームページを通じて病院の情報をタイムリーにお伝えしてまいります。

URL: <https://hospital.ikuwakai.or.jp/>

(医療情報管理室 室長 串田敏)



呼吸器内科勉強会

2021年10月30日(土)大阪東部呼吸器疾患地域連携の会2021をオンライン配信にて開催しました。当院呼吸器内科藤本寛樹医師より「当院におけるCOPD診療の取り組み」、そして特別講演として大阪赤十字病院呼吸器内科副部長吉村千恵先生より「コロナ禍でも行う、喘息/COPD吸入支援の発展」を演題にして実際の症例に基づきご講演いただきました。



育和会記念病院 〒544-0004 大阪市生野区巽北3丁目20番29号 TEL 06-6758-8000(代表) FAX 06-6758-5690 <http://www.ikuwakai.or.jp/>
育和会訪問看護ステーション 〒544-0003 大阪市生野区巽北3丁目19番8号 TEL 06-6758-2000 FAX 06-6758-2003
介護老人保健施設 ひまわり 〒544-0012 大阪市生野区巽西2丁目9番31号 TEL 06-6751-7290 FAX 06-6751-8900

迎春

新年あけましておめでとうございます。

昨年COVID-19の流行により医療のみでなく政治、経済の混乱が続きました。年末には全国的に感染発生数は減少しましたが、新たな変異株オミクロンの出現で今後も予断を許さない状況です。一方で、ワクチンと抗体治療薬が本邦でも本格的に導入され、育和会記念病院においても2月から中等症の入院患者を受け入れ、3月にはワクチン接種を、さらに8月には抗体カクテル療法を開始し一定以上の臨床効果を得ることができたと感じています。地域医療の期待がコロナ診療に傾いているのをひしひしと感じながら、従来からの一般診療も決しておろそかにはせず両立を図ることが当院の課題であり、使命だと考えています。そのため今後一層、法人として人員や設備に十分な投資をし、職員一同最優先事項として感染対策を徹底し臨床現場に臨む所存です。

本年の院内行事ですが、1月に基幹型臨床研修病院として評価機構(JCEP)の認定審査を受け、さらに3月には電子カルテの全面更新を行う予定です。新年早々、立て続けにイベントが続きますが、これらを通して医療人を育てる学び舎としての側面、また医療の生産性の側面で成長した姿を披露できればと期待しています。本年もどうぞ、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



育和会記念病院 理事長 山住 俊晃

世界中が2年に及ぶコロナ騒ぎに振り回され、終わりに見えない戦いが今もまだ続いている。育和会記念病院もコロナと無関係で過ごせるはずもなく、クラスターの洗礼を受けることとなった。この間、外来診療機能は何とか不満足ながらも維持できたが入院患者の受け入れを制限せざるを得ず、地域の病院としての機能を果たせなかったことに悔いが残る。医療の飛躍的な進歩を確信していた現代人の誰が、今回のパンデミックを予測したであろうか?今では多くの病はコントロールできるという過信に対する神からの戒めかもしれない。あらためて感染症の恐ろしさを世界中は身に染みて感じる事となった。失わずに済んだ命もあっという間に、多くの犠牲を払うことになった。生き残った我々はこの代償を払っても余りある未来を築かねばならない。今のところ我が国は小康状態であるが第六波の到来はないとはいえない。他国では感染者の増大が毎日のように伝えられている。今までの知識と経験を頼りに乗り切れるもの信じて、職員全体の知恵と強い心で何とでも前に進んでいきたいものである。



育和会記念病院 院長 高田 正三

◆ 新年のご挨拶 ◆

明けましておめでとうございます。

昨年、一昨年とコロナで皆さまにお会いできず、申し訳ございませんでした。また、循環器科も病院全体も皆様の要望に応えられない一時期があり、大変ご迷惑をおかけした事をお詫び申し上げます。今年も(執筆時点で)第6波が どうなっているのかわかりませんが、諸外国の状況からみても皆様も再度苦しんでいる状況も予測されます。しかし治療薬、ワクチン接種の状況からみて、ウイズ・コロナであっても徐々に通常の診療に戻ることを期待しております。今年もアフターコロナとして、地域を中心とした医療の再構築の年だと思います。育和会記念病院の循環器科も微力ながら、地域医療の一旦を担えたらと考えております。皆様と一緒に新しい地域医療を発展させるよう、努力させていただきたいと願っております。



副院長 吉村隆喜

新年あけましておめでとうございます。

昨年は一昨年から発生しました新型コロナウイルス対策に追われた年でした。また昨年11月末から新型コロナウイルスの変異株(オミクロン型)が発生し今後の予測がつきません。当院では新型コロナウイルス対策は主として総合内科、呼吸器内科で担当し、その他の内科系の医師は発熱外来等で協力も得ておこなっています。新型コロナウイルス感染の予測が難しく、ベッドがあつという間に満床になったりながらなったりと病棟運用がなかなか大変です。また入院患者さんは入院前にコロナの抗原検査およびPCR検査を施行し、陰性の確認をおこなっています。病状の非常に悪い患者さんは遠くから面会していただくこともありますが、原則面会謝絶で患者さんの入院中のQOLは非常に低下しています。



副院長 寺川和彦

またオンライン診療も対面の診療より診療報酬が安いこともあり、なかなか浸透しません。このようなコロナ下での我が国の医療は今後どうなっていくのか不安を感じる今日この頃です。今年もよろしくお願いいたします。

明けましておめでとうございます。

皆様には良い年をお迎えのこととお慶び申し上げます。さて、昨年当院でコロナのクラスターが2回発生し、そのたびに救急患者、入院患者の受け入れ中止、手術の中止などの処置がとられ手術がない時期がありました。実際、1月～10月の外科の手術は193件でしたが、2020年の同時期と比べると17件少なくなっていました。本年は少しでも多くの手術を行えるように外科一同、努力する所存です。皆様より緊急手術の患者さんを紹介していただいたにもかかわらず手術中で受け入れができず、ご迷惑をおかけしたこともあるとは存じますが、それに懲りずに今年も多くの患者さんの紹介をお願い申し上げます。



副院長 西森武雄

あけましておめでとうございます。

コロナの流行が長引いており、また新たな変異株の発生も報告されて、終わりが見通せない状況が続く中で迎える新年となりました。今年の干支は壬寅ですが(私事ですが、私の干支も壬寅で、今年は還暦にあたります)、この壬寅の干支には「厳しい冬を超えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となる」意味があるそうです。コロナに翻弄されたこの数年は、まさに厳しい冬であったと思います。今年はコロナが収束し、冬の時期が過ぎて、新しい成長の年になることを願ってやみません。当院も、地域の医療を担う先生方と一緒に、さらに成長していきたいと存じております。今年も一層のご協力、ご指導をいただきますよう、宜しくお願い申し上げます。



副院長 西村善也

新任医師 紹介

2021年4月から
当院に就任いたしました

- Q1 出身・前住地はどこですか？
- Q2 専門分野・資格・これまでの実績など
- Q3 育和会記念病院での抱負・方針



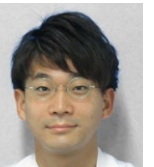
糖尿病内科
宮島 雅子
ミヤシマ マサコ

- Q1 大阪市出身です。
大阪市立大学を卒業しました。初期臨床研修を修了後、大阪市立大学医学研究科 代謝内分泌病態内科学(第2内科)に入局し、大阪市立大学医学部附属病院で勤務しておりました。
- Q2 日本内科学会認定医
- Q3 ひとりひとりの患者様に寄り添い、より適切な治療を提供できるよう尽力して参ります。よろしくお願い致します。



研修医 木村 亮太
キムラ リョウタ

- Q1 大阪市出身です。
香川大学を卒業しました。
- Q3 皆様のお役に立てるような医師を目指して日々精進します。よろしくお願い致します。



研修医 豊川 洋次
トヨカワ ヨウジ

- Q1 兵庫県出身です。
大阪市立大学を卒業しました。
- Q3 患者様から信頼されるように精一杯頑張ります!!



外科
中西 紘一
ナカニシ コウイチ

- Q1 大阪府枚方市出身。
大阪市立大学を卒業しました。2年間石切生喜病院で研修した後、昨年は外科専攻医として大阪市立大学で1年間勤務していました。
- Q3 一人前の外科医になれるよう精進して参ります。至らないところもあるかと思われませんが、どうぞよろしくお願い致します。



研修医 藤永 俊也
フジナガ シュンヤ

- Q1 大阪市出身です。
大阪市立大学を卒業しました。
- Q3 立派な医師になれるように一生懸命頑張ります。



泌尿器科
村尾 昌輝
ムラオ マサキ

- Q1 出身は兵庫県です。
三重大学を卒業しました。
- Q2 泌尿器科専門医 透析専門医 泌尿器内視鏡専門医
- Q3 尿路結石や感染症、悪性腫瘍など、地域医療に貢献できるように頑張ります。



登録医のご紹介

当院では医療を必要とする患者さまに適切で一貫性のある医療を提供することを目的とし、開放型病院制度を運用しています。先生方のご協力で職員一同心より感謝しております。今回は下記のご登録いただいている医療機関様をご紹介します。

弘善会クリニック

院長 伊藤 章 先生
外科・整形外科・内科・
リハビリテーション科・在宅支援診療所
〒544-0015 大阪市生野区巽南3丁目16-2
大阪メトロ 千日前線 南巽駅③号出口からすぐ
TEL 06-6756-8687



院長 伊藤 章 先生 中野 誠人 先生 北岡 寛教 先生



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00-12:00	○	○	△	○	○	○
13:30-16:40	○	○	○		○	
18:00-19:30	○				○	

この度2021年2月1日から南巽駅前に移転し心機一転、今後も謙虚な姿勢で患者様やご家族の方々と向き合い、寄り添って診療及び医学的サポートをしたいと思っております。お気軽に私やスタッフにご相談ください。よろしくお願い致します。

